

出きった杭は打たれない！ こだわりの黒にんにくで成功モデルへ

新規参入 就農2年目



吉田 匡宏さん（弘前市）

就農のきっかけ

所属する「ひろさきローカルベンチャー育成事業」*の地域おこし協力隊（起業型）の中で、キャリアクリエーターとして起業にチャレンジする若者をサポートをしています。これまで学生や若者から相談を受ける中で、就農に関する相談が多く、実際に自分自身で農業をやってみないと教えられないと思い就農しました。

○就農にあたっての課題

農業を始めるに当たって、農地を所有していなかったのですが、知り合いに紹介してもらい、農地を取得することができました。

○活用した支援事業等

・ひろさきローカルベンチャー育成事業*
*地方での起業を育成するため、地域おこし協力隊制度（総務省）を活用して、移住・起業の受入れ組織拠点であるNCL弘前において地域資源を活用した様々な起業プロジェクトに取り組んでいる。

就農を考えている方へのメッセージ

地域の農家さんと日頃からコミュニケーションをとることが大切だと思っています。インターネット検索で栽培方法を調べることはできますが、細かい技術や農法は、現場の農家さんに教えてもらわないと上手いかないことがあります。また、「出る杭は打たれる」が、「出きった杭は打たれない」と思っているので、売り上げ目標を高く設定して取り組むことを心がけています。

プロフィール

- 氏名…吉田 匡宏さん（36歳）
- 出身地…青森県弘前市
- 経営の概要…会社経営（株ホーデック）
従事者4名
- ・経営面積… 2ha
- ・作付品目…にんにく
- ・販売先…黒にんにく、黒にんにくペースト等
→食ベチョコ、ポケットマルシェ、
HIROSAKI ORANDO等

就農してからの課題や想い

○取り組み

農薬・化学肥料を一切使わない栽培にこだわり、「健康食品」として高付加価値を付けた黒にんにく販売に取り組んでいます。

青森県の農業で儲かる姿を成功例で若い世代に伝えたいと考えています。

○就農してからの課題

黒にんにく加工をはじめたときは、原料のにんにくを購入して加工に取り組みました。その際に非常に甘くておいしい黒にんにくが完成したので、同じにんにくの種を植えたいと思い取り寄せました。しかし、12月の仕入れとなったため、慌てて雪を掘り起こして植えましたが失敗しました。失敗を繰り返さないように今年は計画的に栽培しています。

○課題の解決方法

現在ECサイトを構築中で、こだわりの黒にんにくを売り出したいと考えています。

既に残留農薬検査や水質調査、ASIAGAP認証制度、HACCP認証にも取り組んでおり、今後は有機JASマーク取得にもチャレンジする予定です。広告費用をかけ「青森にんにく」のブランドをうまく活用し販売することが大事だと考えています。



【こだわりの生黒にんにく】と【黒にんにくスティック】

美味しく、毎日続けられる健康」をテーマに開発。黒にんにくスティックは無添加にこだわり、自社の生黒にんにく、国内老舗ブランドのはちみつ、トクホのオリゴ糖、この厳選された3つの素材のみを贅沢にブレンドしている。

商品紹介URL：<https://kaguyafarm.theshop.jp/>